

岩手震度6強

「ドーン」突き上げ

火災、落石、倒木

東北地方をまた激しい揺れが襲った。岩手県の太平洋側北部で震度6強を記録した24日未明の地震。震度5弱以上の地震は今年に入ってから7回目、東北地方では約1か月の間に2回目の震度6となった。...

た。

震度6弱を記録した青森県八戸市では、同市中心部の飲食店街「みろく横丁」で、客や店員らが立っていられないほどの大きな揺れがあった。客らは店舗の柱やカウンターにしがみつくなどし、中には揺れている最中に店から飛び出す人もいたという。...

同市花原市付近の国道106号で落石があり、片側通行になっている。さらに市内数か所で落石の情報がある。岩泉町では、落石や倒木により県道宮古岩泉線が全面通行止めとなった。...

岩手・宮城内陸地震で被害を受けた宮城県栗原市内でも、食器棚からコップが落ちるなど、強い揺れがあった。岩手県宮古市によると、...

東北地方では震度5弱以上の地震が頻発している。6月の岩手・宮城内陸地震で被害にあい、宮城県栗原市花山区の仮設住宅に住む無職大山幸義さん(56)は「激しい横揺れだった。外の電柱が大きく揺れていた。数日間雨も降っていたので、自宅の裏山が崩れるのではないかと心配だ」と話していた。

19日の福島県沖の地震では震源は10キロだったのに対し、今回の地震は震源が100キロと深い。東北では、海側のプレートが陸側のプレートの下に沈み込んでおり、沈み込む際にひずみがたまり、太平洋プレート内部で、そのひずみが解放されて発生したものだ」と分析している。...

太平洋プレート

内部での発生か

阿部勝征・東大名誉教授(地震学)は、今回の地震のメカニズムについて「震源が地下約120キロ、深くて、太平洋プレートの内部で起きた地震だろう。地表ごく近い活断層が動いた6月の岩手・宮城内陸地震とメカニズムは異なり、...

プレート内部で起きた場合は、広い範囲で比較的ゆっくりとした強い揺れが観測される。被害状況は今のところつかめないが、ゆっくりとした揺れだったのではないかと話した。防災科学技術研究所の小原一成・地震観測データセンター長は「太平洋プレートが西進して日本列島が乗っている陸側のプレートに沈み込む際にひずみがたまり、太平洋プレート内部で、そのひずみが解放されて発生したものだ」と分析している。海側のプレートが陸側のプレートに沈み込んでおり、沈み込む際にひずみがたまり、太平洋プレート内部で、そのひずみが解放されて発生した地震と考えられる。